

1. 件名：
日本原子力発電株式会社東海発電所及び東海第二発電所の事業者防災訓練実施計画（案）の説明について
2. 日時：
令和4年2月4日（金）09時30分～11時30分
3. 場所：
茨城県原子力オフサイトセンター 原子力防災専門官事務室
4. 出席者：
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所
関谷原子力防災専門官、水野技術参与
日本原子力発電株式会社
課長、副主任
5. 要旨
日本原子力発電株式会社が、原子力災害対策特別措置法に基づき実施する、事業者防災訓練実施計画（案）の概要について説明を受けた。
主な内容は、以下のとおり。
 - (1) 訓練実施日
令和4年3月4日（金）（東海発電所の第2部訓練のみ3月28日に予定）
 - (2) 主な検証項目と達成目標
 - ・基本的な能力、技量の向上
 - ・情報の伝達要領の維持向上
 - ・特に、現時点では顕在化していないが今後発生する可能性があるリスクと、これへの対応を考案し、ERCプラント班と情報共有する方法を検証（先読みしたリスクへの情報共有）
 - (3) 訓練想定等
 - ・東海発電所（『2部制訓練』）
（第1部：警戒事態までの訓練
第2部：施設敷地緊急事態及び全面緊急事態に至る訓練。3月28日を予定）
 - ・東海第二発電所
地震を起因として、外部電源を喪失し、更に余震によって非常用発電装置（DG）も故障し、原災法第10条及び第15条に該当する事象への対応
 - (4) シナリオの開示の有無
非提示

原子力規制庁からは、即応センターのERC対応班（①メインスピーカー、②補助者、③監督者（スーパーバイザー））の役割と注意点を助言し、先読みリスクへの

対応のための書架資料の一例を提示した。

6. その他
配布資料なし。